

- 問1 北海道における外国人宿泊客数の月別統計を見ると、1月から3月にかけての時期に数値が大きく上昇するという特徴があります。この時期に観光客が多く訪れる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. パウダースノーと呼ばれる良質な雪でのスキーや、雪まつりなどの行事を目的に訪れるため。
 2. 本州よりも早く開花するサクラの鑑賞や、春の大型連休を利用した旅行者が増えるため。
 3. 梅雨がなく、ラベンダーなどの花々が満開になる夏の涼しい気候を避暑目的で好むため。
 4. 秋の紅葉シーズンに合わせ、新幹線を利用して広大な農地の収穫風景を見学に来るため。
- 問2 北海道の太平洋側で夏に発生する濃霧は、周辺の気候や産業に大きな影響を与えます。この霧が発生する一因となっている、北から南下して行く寒流の名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 島根公立入試 類似)
1. 親潮
 2. 黒潮
 3. 対馬海流
 4. 日本海流
- 問3 札幌において、冬（12月～2月）の降水量が東京などの太平洋側の都市に比べて多くなる理由を、地理的な背景から説明したのとして正しいものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 冬に湿った北西の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。
 2. 冬に湿った南東の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。
 3. 暖流である対馬海流から蒸発した水蒸気が、北東の季節風によって運ばれるため。
 4. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した風が、太平洋上で水分を蓄えて戻ってくるため。
- 問4 北海道の南東部に位置する十勝平野では、その広大な土地と冷涼な気候を活かした大規模な農業が行われています。この地域における農業の特色を説明したのとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 和歌山公立入試 類似)
1. 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。
 2. 豊かな水資源を利用した大規模な稲作が行われ、米の単作地帯となっている。
 3. 大消費地に近い立地を活かして、ビニールハウスを用いた施設園芸農業が行われている。
 4. 温暖な気候を利用して、冬でもレタスなどの野菜を栽培する促成栽培が行われている。
- 問5 北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 和歌山公立入試 類似)
1. 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。
 2. 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪い台地を改良するため、大規模な水路が建設された。
 3. 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海水を抜き、塩害に強い新たな耕地を造成した。
 4. 急傾斜地を階段状に削り、地滑りを防ぎながら標高の高い場所でも耕作を可能にした。
- 問6 日本の積雪寒冷地では、道路の上方向きの矢印が描かれた標識が設置されていることがあります。この標識を設置する主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫公立入試 類似)
1. 吹雪や積雪によって路肩の境界が見えなくなるのを防ぎ、道路の端を示すため
 2. 急な上り坂が続くことを運転者に知らせ、低速走行を促すため
 3. 野生動物が道路を横断する可能性が高い地点であることを警告するため
 4. 除雪車が雪を捨てる場所を指定し、作業の効率化を図るため
- 問7 ある都市の統計データにおいて、年平均気温が7.9度、年降水量が1239.2mmであり、夏（7・8月）の気温が約20度と低く、冬の降水量が非常に少ないという特徴が見られました。この都市が位置する地域とその気候の背景について述べた文として正しいものを選びなさい。 (2023年 長野県公立入試 類似)
1. 北海道の太平洋側に位置しており、夏は海からの湿った冷たい風などの影響で気温が上がりにくく、冷涼な気候となる。
 2. 北陸地方の日本海側に位置しており、冬は対馬海流の影響を受けた湿った風が山地にぶつかるため、世界的な豪雪地帯となる。
 3. 瀬戸内海沿岸に位置しており、周囲を山地に囲まれているため、年間を通じて降水量が少なく、夏は非常に高温になる。
 4. 中央高地に位置しており、標高が高いため年平均気温は低いが、日照時間が長いので夏の日中の気温は非常に高くなる。
- 問8 北海道と本州の交通網の整備とその地理的背景について説明した文として、最も適切なものを選択してください。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 津軽海峡の海底に青函トンネルを建設することで、青森県と北海道の間の安定した鉄道輸送が可能になった。
 2. 宗谷海峡に巨大な橋を架けることで、北海道とロシアを陸路で結び、農作物の輸出を拡大させた。
 3. 関門トンネルを抜けた新幹線が、岩手県から直接北海道へ乗り入れることで移動時間を大幅に短縮した。
 4. 津軽海峡を横断する高速道路専用の橋を建設し、青森県から秋田県への自動車移動を効率化させた。
- 問9 北海道の稚内や知床といった地名は、ある人々の言語に由来しています。これらの地名の元となった言語を使用していた、北海道の先住民族を何と呼びますか。 (2015年 佐賀公立入試 類似)
1. アイヌ民族
 2. 縄文人
 3. 蝦夷（えみし）
 4. 弥生人
- 問10 北海道東部の釧路市周辺には広大な湿地が広がっています。この地域の自然環境と農業について述べた文として正しいものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 夏季に発生する霧の影響で気温が上がりにくいため、稲作よりも、冷涼な気候に適した酪農が盛んに行われている。
 2. 冬に北西から吹く湿った季節風が山脈に突き当たり、世界有数の豪雪地帯となるため、冬の間の農業は行われない。
 3. 広大な湿地を干拓して大規模な水田地帯が作られており、石狩平野と並ぶ北海道有数の米の産地となっている。
 4. 年間を通じて温暖な対馬海流の影響を強く受けているため、冬でも雪がほとんど降らず、野菜の促成栽培が行われている。
- 問11 日本の農業統計において、北海道は他地域と比較して耕地面積に占める牧草地の割合が非常に高いという特徴があります。このような広大な土地を利用した酪農で生産される生乳の利用状況について、正しい説明はどれですか。 (2025年 岐阜公立入試 類似)
1. 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。
 2. 生産された生乳のほとんどが、鮮度を保持したまま大都市圏へ飲用として出荷されている。
 3. 生産された生乳は、果樹園の肥料や家畜の飼料としてその大半が地域内で消費されている。
 4. 生産された生乳は、九州地方などの遠方の乳製品工場へ生乳のまま輸送されることが一般的である。
- 問12 北海道の経済や文化の変遷について、かつての商業都市である小樽と、自然保護が進む釧路湿原の背景を説明した文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2021年 鳥取公立入試 類似)
1. 小樽は、かつて石炭の積み出しやニシン漁の拠点として発展し、現在はその歴史的な倉庫群が観光資源として活用されている。
 2. 釧路湿原は、農地開発や工業用地としての利用を目的として大規模な埋め立てが行われた結果、世界文化遺産に登録された。
 3. 小樽は、江戸時代に東廻り航路の終着点として栄えたため、現在も大規模な製鉄所が稼働する重化学工業都市となっている。
 4. 釧路湿原は、寒冷な気候を活かした稲作の適地として開発が進んだが、現在は冷害に強い品種改良の実験場となっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 パウダースノーと呼ばれる良質な雪でのスキーや、雪まつりなどの行事を目的に訪れるため。	北海道の観光は、かつては夏が主流でしたが、近年は東アジアなどの雪が少ない地域から、良質な雪（パウダースノー）を求めて冬に訪れる外国人が急増しています。1月から3月はスキーやスノーボードといったウィンタースポーツに加え、さっぽろ雪まつりなどの冬のイベントが充実しているため、宿泊客数が多くなる傾向にあります。
問2	答え 1 親潮	北海道の東方沖を北から南へと流れる寒流は「親潮（千島海流）」です。夏に太平洋から吹く湿った季節風がこの冷たい親潮の上を通過することで、水蒸気が冷やされて霧が発生します。一方、黒潮（日本海流）は日本の南岸を北上する暖流であり、この霧の発生原因とは異なります。
問3	答え 1 冬に湿った北西の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。	日本の冬はシベリア高気圧から北西の季節風が吹きます。この風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、北海道の日本海側に位置する札幌などに雪をもたらします。そのため、冬の時期に晴天が多く降水量が少ない太平洋側の都市と比較して、札幌では冬の降水量（降雪量）が多くなるという因果関係が生じます。
問4	答え 1 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。	北海道の十勝平野は、日本を代表する畑作地帯です。1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を導入した大規模な農業が展開されています。ジャガイモ（馬鈴薯）、てんさい（ビート）、豆類、小麦などを組み合わせた畑作のほか、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農も組み合わされているのが大きな特徴です。
問5	答え 1 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。	石狩平野などに広がっていた泥炭地は、非常に排水が悪く、そのままでは稲作に適しませんでした。そこで、大規模な排水路を建設して湿地の水を除き、さらに他の場所から良質な土を運び入れる「客土（かくど）」を行うことで、肥沃な農地に生まれ変わらせました。選択肢にある「火山灰の台地」はシラス台地、「海水を抜く」は干拓に関する説明です。
問6	答え 1 吹雪や積雪によって路肩の境界が見えなくなるのを防ぎ、道路の端を示すため	北海道や東北地方などの積雪寒冷地では、冬に大量の雪が積もったり吹雪が発生したりすると、地面にある路肩のラインやガードレールが見えなくなることがあります。そのため、高い位置に固定式の標識を設置することで、積雪時でも運転者が道路の幅を正しく認識し、安全に走行できるように工夫されています。
問7	答え 1 北海道の太平洋側に位置しており、夏は海からの湿った冷たい風などの影響で気温が上がりにくく、冷涼な気候となる。	問題文にある「年平均気温が約8度」「夏が20度前後と冷涼」「冬の降水量が少ない」というデータは、北海道の太平洋側に位置する苫小牧市などの典型的な特徴です。太平洋側では、夏に千島海流（親潮）の上を吹き渡る冷たい湿った空気の影響で、気温がそれほど上がらず冷涼な夏となります。一方で冬は、日本海側で雪を降らせた後の乾燥した空気が流れ込むため、降水量が抑えられます。これに対し、日本海側の金沢などでは冬の降水量が非常に多くなるため、対照的なグラフとなります。
問8	答え 1 津軽海峡の海底に青函トンネルを建設することで、青森県と北海道の間の安定した鉄道輸送が可能になった。	かつて本州と北海道の輸送は青函連絡船が主流でしたが、海上の悪天候による欠航が課題でした。これを解決するために、青森県と北海道の間の津軽海峡に青函トンネルが建設されました。これにより、本州からの玄関口である青森県を經由して、新幹線や貨物列車が年間を通じて安定して往来できるようになりました。
問9	答え 1 アイヌ民族	北海道には古くから、独自の文化を持つ先住民族であるアイヌの人々が暮らしてきました。現在でも北海道の多くの地名は、彼らの言語である「アイヌ語」に由来しています。例えば「稚内」はアイヌ語で「冷たい水の出る川」という意味の言葉に由来するなど、地域の自然の特徴が名前に反映されていることが多くあります。
問10	答え 1 夏季に発生する霧の影響で気温が上がりにくいため、稲作よりも、冷涼な気候に適した酪農が盛んに行われている。	釧路湿原に代表される道東の太平洋側は、夏の季節風と寒流の影響による海霧で気温が上がらないため、米作りには適していません。そのため、この冷涼な気候を活かして、乳牛を飼育する酪農が大規模に行われています。選択肢にある「豪雪地帯」は主に日本海側の特徴であり、「温暖な海流」や「促成栽培」は宮崎県や高知県などの南日本の特徴です。
問11	答え 1 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。	北海道の農業は、広大な土地を活かした大規模な経営が特徴です。統計資料によると、北海道の耕地はその多くが牧草地であり、そこで生産される生乳の約8割以上がバターやチーズなどの加工用原料に充てられています。これは、都府県の生乳が主に鮮度が重視される飲用として利用されている状況とは対照的です。
問12	答え 1 小樽は、かつて石炭の積み出しやニシン漁の拠点として発展し、現在はその歴史的な倉庫群が観光資源として活用されている。	小樽は明治から大正にかけて、北海道開拓の玄関口やニシン漁、石炭の積み出し港として急速に発展し、「北のウォール街」と呼ばれるほどの商業都市となりました。現在は当時の石造り倉庫や運河が保存され、重要な観光資産となっています。釧路湿原は開発から免れた貴重な自然として「世界文化遺産」ではなく「国立公園」や「ラムサール条約」による保護の対象となっています。また、釧路付近の気候は稲作には適さず、主に酪農が行われています。